

5月・6月の管理ポイント

平成22年4月25日



ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第105号

5月、6月は梅雨から夏に向けての準備として、グリーンの根を伸ばしておく時期です。4月が天候不順で芝の生育にも出遅れ感がある中、土壌の透水性、通気性を高めて、育ちやすい環境を整えていきましょう。

レボ (REVO)

5月の生育期、6月の排水対策に...

5月は芝生の根をしっかり伸ばす大切な時期です!!
レボにより表層を乾き気味、土壌中は気相をしっかりと確保した状態にキープし、芝生の発根を促しましょう。土壌中を乾燥気味にして、根に軽いストレスを与えたほうが根が下方まで伸びていきます。散水のポイントとしては、毎日軽く散水を行なう場合よりも(根域にストレスがかからない)、回数を減らして一度に十分な散水を行なった方が(根域に軽いストレスがかかる)、根域が深くなります。
6月は、梅雨のため土壌が飽和状態になります。レボ処理で余分な水を排水させましょう。
使用量：レボ 2ml/m² 散布水量：200ml~1L/m² 散布回数：1ヶ月に1回

光合成細菌、サッチ・リムーバー

サッチ層の除去には...

梅雨前の更新作業時に**光合成細菌**と**サッチ・リムーバー**を組み合わせることによって、サッチを効率よく分解し、通気性の良いグリーンをつくりましょう。
光合成細菌 使用量：1~2cc 1ℓ/m²散布 月1~2回
サッチ・リムーバー 使用量：1~2g/m² 0.5ℓ/m²散布 使用回数：月1~2回 (光合成細菌の取り扱い研究会制です)

コ・エンザ

梅雨時期のストレスのかかった芝生には...

梅雨時期は日照不足のため植物内の活性が低下し、芝生が軟弱になります。
コ・エンザ処理により、植物内の酵素反応を潤滑にし、弱った芝生の回復に努めましょう。
使用量：ベント1~2g/m² 1ℓ/m²散布 コウライ3~4g/m² 1ℓ/m²散布

スティンガーFL、ショットガン

害虫発生にあわせて...

今年の静岡県のフェロモントラップの調査では、3月中旬にはカブラヤガ成虫(タマナヤガの類似種)が確認され、中旬以降にシバツトガ、スジキリヨトウ成虫が確認されました。GW以降のグリーンには、カブラヤガ幼虫、シバツトガ幼虫の連続発生が予想されます。そういった場合は新規化合物による長期残効型殺虫剤スティンガーフロアブル、また比較的食害が軽微である場合はショットガンを使用し、状況に応じて使い分けましょう。
使用量：ショットガン 1000倍 0.3ℓ/m²散布 スティンガーFL 4000倍 0.2ℓ/m²散布

グリーンメカ、マリンパワー

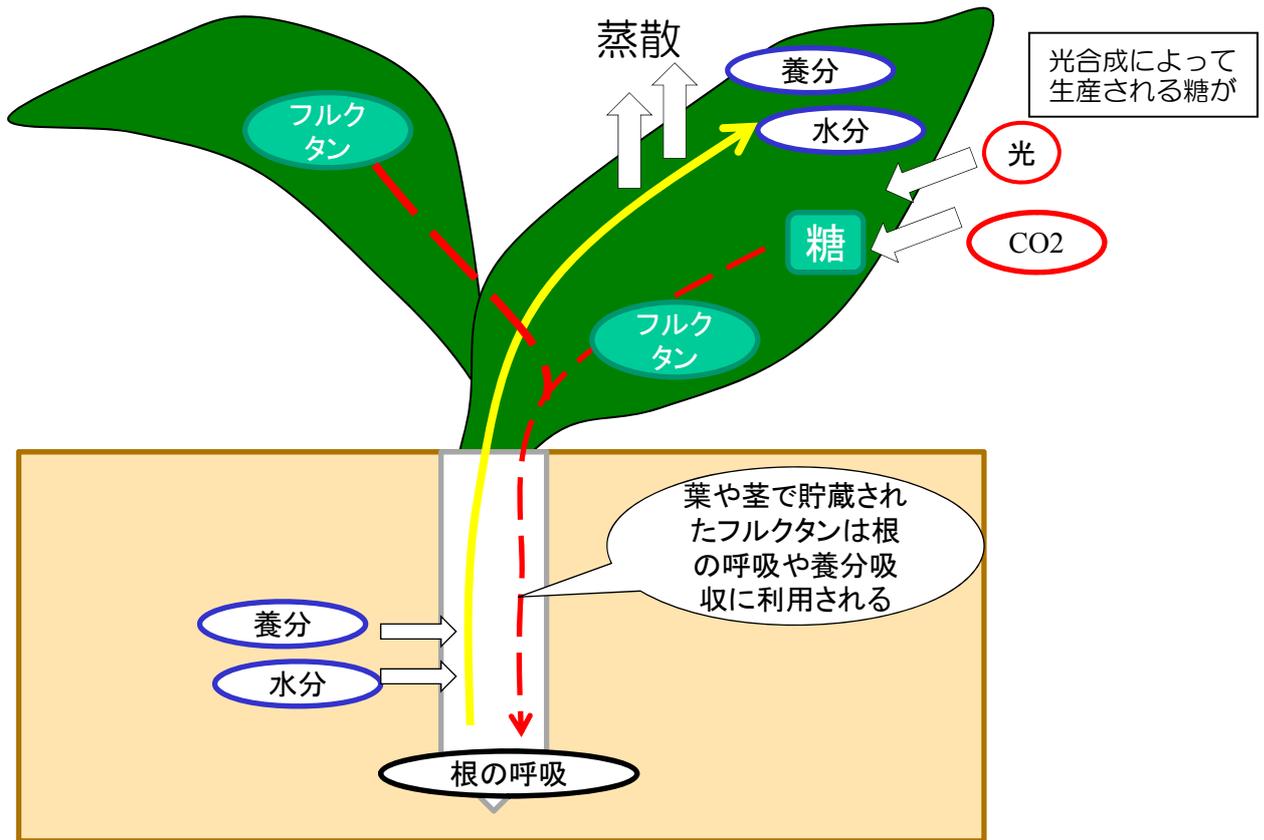
日照不足を補うために、芝生や有用菌のエサとして...

梅雨は日照不足にともない、芝生の光合成が低下していきます(糖類生成量減少)。黒糖、各種ミネラルの豊富な**グリーンメカ**で不足しがちな糖類を補ってあげましょう。
光合成細菌と**マリンパワー**を組み合わせることによって、嫌気性の土壌(排水の悪いドブ臭い土壌)を改善し好気性の有用菌を定着させましょう。
使用量：グリーンメカ 5~10ml/m² 1ℓ/m²以上 マリンパワー 2~4ml/m² 1ℓ/m²以上

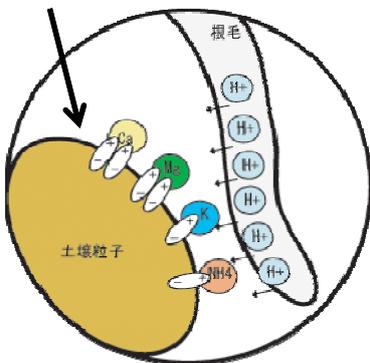
光合成と根の養分吸収の関連性

根の養分吸収について

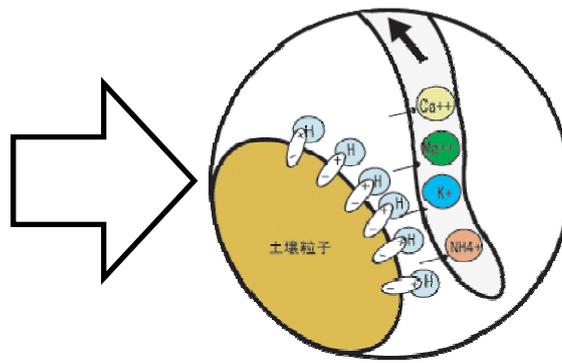
蒸散作用で根から吸収された水分や養分が葉まで上昇する



土壌粒子に付着している養分



水素イオンが代わりに付着する



根毛は水素イオンを出し、水溶性イオン(水に溶けている状態のイオン)だけでなく土壌粒子に吸着している養分も吸いとる。
 この時、根は大量のエネルギーを必要とするが、そのエネルギー源は光合成によって生産された糖がフルクタンとして茎や葉で貯蔵され、それが根に移動し、根の呼吸や養分吸収に利用される。
 吸収された水分や養分は蒸散作用によって、茎や葉まで吸い上げられる。